

## 出穂期にほ場間差あり、 収穫作業計画はお早めに！



### 1. 気象情報 ■北陸地方1か月予報（新潟地方気象台・7月28日発表）

・暖かい空気が流れ込みやすいため、向こう1か月（7月30日～8月29日）の気温は平年より高いでしょう。平均気温は高い確率が60%です。

### 2. コシヒカリ生育概況(7/28日調査)

項目	本年値	前年比	指標値比・差	※調査について
草丈(cm)	96	95%	113%（やや長）	【草丈等数値】 新潟市下羽津気象観測団
茎数(株/本)	363	91%	98%（並）	
葉数	12.7	-0.1葉	-0.1葉（並）	【指標比・差】 5月10日以降の適期移植の理想生育との比較
SPAD	36.3	4.4	2.8（濃い）	

◆気象観測圃 新発田市農業サポートセンター  
・田植日：5月11日 ・出穂期：8月6日

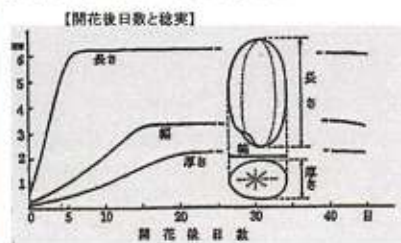
### 3. 高品質米生産に向けた出穂後の水管理

**出穂後25日頃まで湛水管理を継続しましょう。**

#### (1) 高品質・良食味米対策

- 登熟初中期は米粒へのデンプンの蓄積が盛んな時期です。  
（米粒に70%程度のデンプンが蓄積される出穂期25日後を落水時期のめやすとしましょう。）
- 早期落水すると下葉の枯れ上がりや倒伏が助長されるため登熟不良により未熟粒が増加し、又、玄米中のタンパク質含有率が高まり食味が低下する要因となります。
- コンバイン収穫に支障がない地耐力を確保できる限り、落水時期は遅めとしましょう。

- ・玄米は、初めに長さが決まります。
- ・次いで幅、最後に厚みが決定します。
- ・厚みが決定する時期は開花後30日頃であるため、早期に完全落水すると厚みがない米（未熟粒）となる可能性が高まります。



#### (2) 生育後期まで農業用水を有効利用するため、以下のことに気をつけましょう。

- 掛け流しはやめましょう。
- 水尻・畦畔の漏水対策を徹底しましょう。
- 水更新は、強制落水せず自然減水により行いましょう。

#### (3) 台風（フェーン）時の水管理対策

強風・フェーンが予想される場合は湛水状態を保ち、被害の軽減に努めましょう。

### 4. 斑点米防止対策

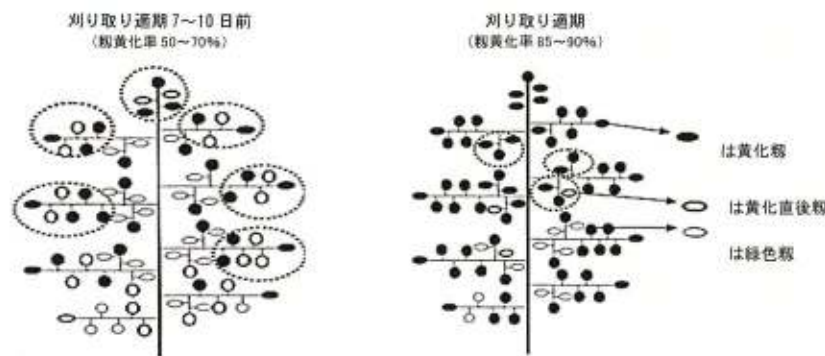
農道・畦畔の草刈りはカメムシの餌となる雑草が結実しない間隔で計画的に実施しましょう。



### 5. 収穫適期のめやす

**収穫適期を的確にとらえて刈遅れを防止しましょう。**

1. 黄化割合が85%から90%くらいになった頃が収穫適期となります。



図中の点線内の穂（上・中位1次枝梗穂）が黄化した時が刈り取り適期7～10日前  
図中の点線内（上位3～4本目の1次枝梗に着生する2次枝梗穂）が黄化した時が刈取適期

（注）黄化の診断は1次枝梗が9本程度の平均的な穂について行う。調査本数は20穂程度

必要である。16本以上が該当すれば7～10日前

（注）初黄化の診断は1次枝梗が9本程度の平均的な穂について行う。調査本数は10穂程度

必要である。8本以上が該当すれば刈り取り適期

2. 収穫適期は、出穂後の日数や出穂後の日平均気温の積算値からおおむね推定できます。

品 種	収穫適期目安 （出穂後積算温度）
早生（こしいぶき、ゆき金子舞、わたぼうし等）	975℃
中生（コシヒカリ、こがねもち）	1000℃

- 登熟後半が高温条件となって籾水分の低下が早く、立毛割れの発生が懸念される場合は収穫開始を上記表より50℃程度（2日程度）早めましょう。

### 水稻栽培記録簿「8月分」提出のお願い



- ◆JAへ出荷いただくすべての品種について、水稻栽培記録簿への記載と提出が必要です。
- ◆JA特別栽培米出荷の方は、ラベルシール作成の関係がありますので、お早目に提出をお願い致します。  
提出期日：8月中旬に 提出先：各地区文書ポストまたは各購買センターまで

